

Sports Brake System

No. MSE500

取付・取扱説明書

AutoExe
A New Driving Sensation

株式会社オートエクゼ

〒104-0054 東京都中央区勝どき 4-6-1

TEL 03-3531-8151 FAX 03-3531-8152

この度は、オートエクゼ スポーツブレーキシステムをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本書は、当製品を車両に組み付ける前に行う作業、組み付ける時の注意点が記載してあります。作業を行う前に必ずご一読いただき、お取り付けの際には本書に従って作業を進めていただくようお願いいたします。また作業終了時には本書を必ずお客様にお渡しください。

※本製品の装着により、ブレーキローターの構造上ホイールおよびタイヤの取り付け位置が製品装着前と比較して外側に6mmオフセットします。純正装着以外のタイヤ・ホイールを取り付けされている場合は、現在の状態でタイヤの中心より前方30度、後方50度の範囲がフェンダー端面からタイヤまで5mm以上のクリアランスがあるかを必ずご確認ください。もし、5mm以上無い場合は、製品の装着によりタイヤがフェンダーから突出し保安基準に適合しなくなる恐れがありますので、製品の装着はお止めください。

※本製品のブレーキキャリパーは純正装着の18・19インチホイールのスポーク形状を逃げるように設計されています。純正以外のホイールをすでに取り付けされている場合は、純正同サイズおよびインチアップされている場合でも、スポーク形状によっては、キャリパーと干渉して装着できない場合があります。ホイール各部とキャリパーのクリアランスは必ず5mm以上確保して本製品を装着してください。

⚠️ ご注意 ※当製品の取付けにあたっては、以下の注意事項を厳守してください

1. 本書に記載する説明に従って装着を行うこと。本書に記載する以外で、当製品の取付上やむを得ない場合を除き、製品の加工・改造・分解および、車両の改造は絶対行わないでください。
2. 当製品の装着は、下記の適合車種欄に記載する車両にのみ行ってください。
3. 当製品の通常の取付けに関しては、法律に定める自動車分解整備の項目に該当するものではありませんが、作業の方々は自動車整備を専門に3年以上経験をされている方、又は当該経験者の監督下で作業が可能な方を原則とします。
4. パーツリスト以外の部品を使用した不具合、事故、破損等につきましては、当社は一切の責任を負いません。指示のない部品は、必ずマツダ純正部品をご使用ください。
5. 純正部品の取外し・取付け作業は、マツダ(株)発行の整備書を参照して作業を行ってください。
6. 製品は、原則としてクレームには応じかねますので、あらかじめご了承ください。また、車両に改造が施されていたり、純正ではない部品が取付けられていた場合、または日常点検を怠ったために発生した事故等については、一切の責任を負いません。

⚠️ ご注意 ※当製品のご使用にあたっては、以下の注意事項を厳守してください

1. 製品装着直後はブレーキローターとブレーキパッドの摩擦面が完全に接触していないため、本来の制動力を発揮していません。目安としてブレーキローター表面にブレーキパッドの接触跡が全面均一に付くまでは、無理なブレーキは行わずに、十分な慣らし運転を行ってください。
2. 本製品のブレーキパッドにはウェアインジケータ(ブレーキパッド残量警告装置)がありません。ご使用中は定期的にブレーキパッドの残量を点検し、裏板を含む残厚が9mm以下になりましたら、必ず弊社指定のブレーキパッドに交換してください。
3. 走行直後のブレーキ系部品は非常に高温です。必ずブレーキ系部品が冷えたのを確認した上で整備作業を行ってください。また、火傷やケガを防ぐため、作業中は耐熱性のある保護手袋を着用してください。
4. ブレーキローターは2ピース構造で精密に組み上げられておりますので、絶対に分解しないでください。

適合車種

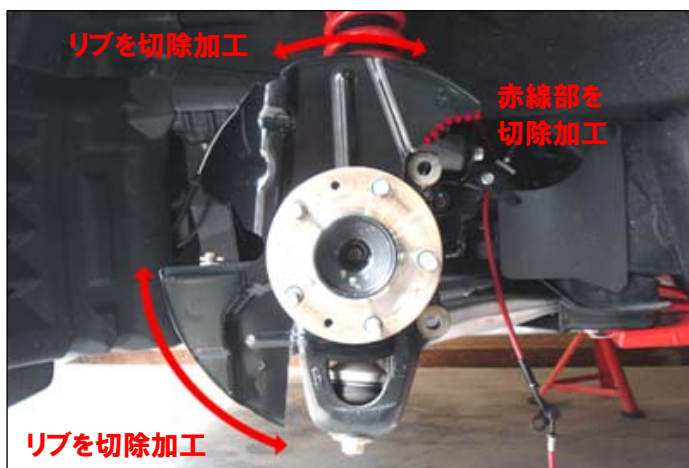
マツダ RX-8 (LA-SE3P/ABA-SE3P) 純正大径ブレーキ装着車

構成部品

No.	部品名称	仕様	数量
①	ブレーキキャリパー RH	鍛造アルミ合金製 レッド粉体塗装 4ピストン(ピストン径38mm) 4パッド	1
②	ブレーキキャリパー LH	鍛造アルミ合金製 レッド粉体塗装 4ピストン(ピストン径38mm) 4パッド	1
③	キャリパーブラケット (※左右共通)	ジュラルミン製 黒アルマイト仕上げ	2
④	ブレーキパッド (※全同一形状)	ノンアスベスト製	8
⑤	パッドサポートスプリング	ステンレス製	4
⑥	ブレーキローター ASSY RH	CV 鑄鉄製ディスク(サイズ 355mm×28mm)+アルミ合金製ベルハウジング	1
⑦	ブレーキローター ASSY LH	CV 鑄鉄製ディスク(サイズ 355mm×28mm)+アルミ合金製ベルハウジング	1
⑧	ブレーキライン RH	ステンレスメッシュ PTFE 製 レッド PVC コーティング仕上げ	1
⑨	ブレーキライン LH	ステンレスメッシュ PTFE 製 レッド PVC コーティング仕上げ	1
⑩	ハンジョーボルト	スチール製 ブレーキキャリパー～ブレーキライン固定用	2
⑪	銅ワッシャー	銅製 外径 15mm 内径 10mm	4
⑫	ボルト	スチール製 M12×45 P1.25 キャリパーブラケット～ステアリングナックル固定用	4
⑬	ボルト	スチール製 M12×45 P1.25 ブレーキキャリパー～キャリパーブラケット固定用	4
⑭	スプリングワッシャー	スチール製 外径 18mm 内径 13mm	8
⑮	平ワッシャー	スチール製 外径 25mm 内径 13mm T=3mm	4

装着手順

1. マツダ(株)発行の整備書を参照に、純正ブレーキキャリパー、ブレーキローター、ブレーキライン(ボディ側フレアナット部より)を取外します。



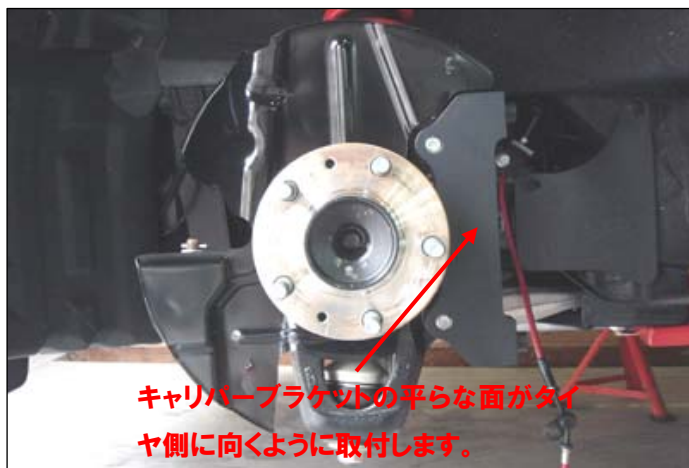
2. ブレーキローターおよびキャリパーブラケットを車両にあてがい(左図赤矢印部)、バックプレートのリブ2箇所およびキャリパーブラケットとの干渉部位(赤線部)を、エアソーなどを使用して切除します。加工部位はバリ取り後、角部を軽く面取り加工してください。

⚠ バックプレート外周部および切除加工部位は非常に鋭利なため、怪我などに十分ご注意ください!



3. キャリパーブラケットをステアリングナックルに取付けます。キャリパーブラケットには取付時の方向性があり、段付がある側をステアリングナックルに向けて取付けます。

※左右共通品のため、左右の方向性はありませぬ。



4. キャリパーブラケットの取付方向に注意しながら、ステアリングナックルに取付けます。

【使用ボルト】

⑫ボルト (M12×45)

⑭スプリングワッシャー (外径 18mm 内径 13mm)

⑮平ワッシャー (外径 25mm 内径 13mm)

【締付けトルク】

キャリパーブラケット固定ボルト = 65N・m



5. 純正の取付スクリュを使用して⑥⑦ブレーキローター ASSYを車両に取付けます。⑥⑦ブレーキローター ASSYには取付時の方向性があり、左図のブレーキローターが左側(助手席側)用となります。

※右用・左用の判別は、ローター表面に刻まれているクリーニングスリット向きで識別できます。左図のブレーキローターが左用となります。

【締付けトルク】

ローター固定スクリュ = 9.8~14.7N・m



6. ④ブレーキパッドの摺動部(左図赤色部分)にディスクブレーキグリスを塗布します。



上から体重を掛けて強く押し込むようにブレーキパッドを取付します。

7. 左図を参照に④ブレーキパッドを①ブレーキキャリパー RH、②ブレーキキャリパー LHに取付けします。ブレーキキャリパーに取付けされているブレーキパッド固定ピンおよびスプリングワッシャーを取外し、ブレーキパッドをブレーキキャリパーに取付けます。

⚠ 制動時のブレーキパッドガタつきを抑制するため、ブレーキキャリパーとブレーキパッドの適合は非常にきつく設計されております。ブレーキパッド取付時は上から体重を掛けて強く押し込むように取付してください。



ブレーキパッド固定ピンおよびスプリングワッシャー

⑤パッドサポートスプリング

8. 左図を参照に取付けたブレーキパッドの上に、⑤パッドサポートスプリングを乗せ、ブレーキパッド固定ピンとワッシャーで、ブレーキパッドとパッドサポートスプリングを固定します。

⑤～⑥の作業を繰り返し、全8枚のブレーキパッドをキャリパーに取付けます。



エア抜き用ブリーダープラグが上向きになるよう取付けする

9. ブレーキキャリパーの取付方向に注意しながら、①②ブレーキキャリパーをキャリパーブラケットに差し込み、ボルト・スプリングワッシャーで取付けます。

⚠ 右用・左用の判別は、エア抜き用ブリーダープラグの向きで識別します。ブリーダープラグが上向きに取付けされるため、左図のブレーキキャリパーが左用となります。

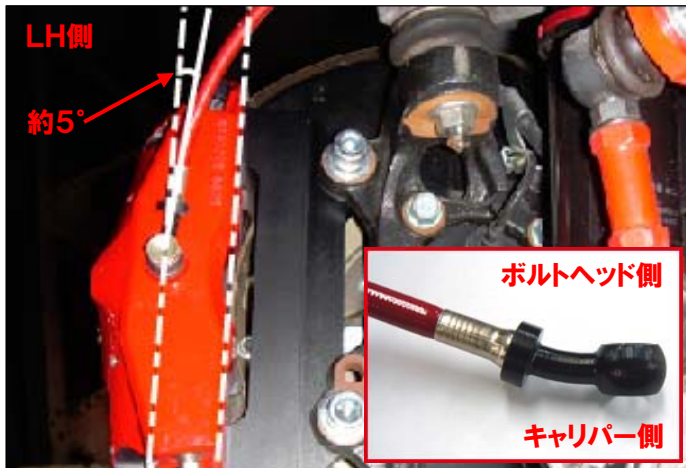
【使用ボルト】

⑬ボルト (M12×40)

⑭スプリングワッシャー (外径 18mm 内径 13mm)

【締付けトルク】

キャリパー固定ボルト = 65N・m



10. ⑧⑨ブレーキラインをバンジョーボルト側取付部より、ブレーキキャリパーに取付します。その際、バンジョーボルトはキット付属の⑩を使用し、ブレーキラインとの間には、必ず⑪銅ワッシャーを挟んで取付します。またブレーキラインの取付方向は、左図の通りブレーキキャリパー平行線より約5° 内側に向けて取付けします。

【使用ボルト】

⑩バンジョーボルト

⑪銅ワッシャー（外径 15mm 内径 10mm）

【締付けトルク】

バンジョーボルト = 14.7~19.6N・m



11. ⑧⑨ブレーキラインを中間止め金具部→ボディ側フレアナットの順に取付します。その際、ブレーキラインのネジレには十分注意し、中間止めボルトおよびフレアナット部固定クリップは純正品をそのまま使用します。

【締付けトルク】

中間止め固定ボルト = 18.5~25.5N・m

フレアナット = 14.7~19.6N・m

12. 左右キャリパーの取付けが完了したらエア抜きをします。エア抜きは、まずブレーキキャリパー内側のブリーダープラグからブレーキフルードが出てくるまでペダルを踏込み、内側の2ピストンにブレーキフルードを満たしたのち、同様に外側のブリーダープラグを緩め、外側の2ピストンにブレーキフルードを満たします。両ブレーキキャリパーともブレーキフルードを満たしたのち、マスタシリンダー本体→左後キャリパー→右後キャリパー→左前内側ブリーダー→左前外側ブリーダー→右前内側ブリーダー→右前外側ブリーダーの順でエア抜きを行います。

⚠ ブレーキフルードが塗装面に付着すると塗装はく離の原因となるため、付着しないように注意する。もし付着した場合は、すぐに水で洗い流してください。

【締付けトルク】

ブリーダープラグ = 9.8N・m

13. 各部固定部が適正トルクで確実に締付け出来ているか、またブレーキラインの各部などからフルード漏れが発生していないかを確認して作業完了です。